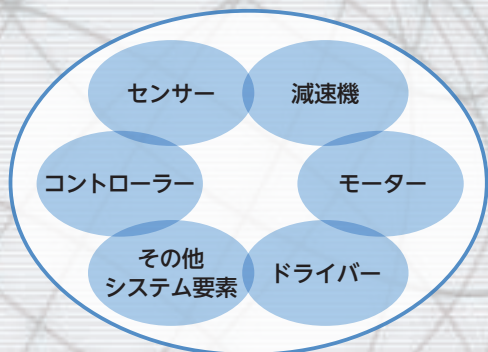


株主のみなさまへ
2011年度
中間期株主通信

2011年4月 1日から
2011年9月30日まで





トータル・モーション・コントロールの概念図

当社グループは、減速機・モーター・センサー・ドライバー・コントローラー・その他システム要素までを統合した「トータル・モーション・コントロール」の提供を通じて、一層の成長を目指します。



新製品：中空構造フルユニットタイプ SHF-2UHシリーズに最小型番SHF-11を開発しラインアップを充実しました。

CONTENTS

ごあいさつ	1
当中間期の事業環境について	
当中間期の業績について	
今後の見通しと取り組みについて	
主要製品／ハーモニックドライブ® とは？	3
用途	4
中間財務諸表(連結)(要旨)	5
中間財務諸表(単体)(要旨)	7
グループ会社の概要	8
会社情報	9
株式情報	10

ごあいさつ

はじめに、本年3月11日の「東日本大震災」により被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復興をお祈りいたします。

さて、株主の皆様には日頃より温かいご支援をいただき、ありがとうございます。

当社グループの2011年度中間期(2011年4月1日から2011年9月30日まで)の事業概況について、ご報告いたします。

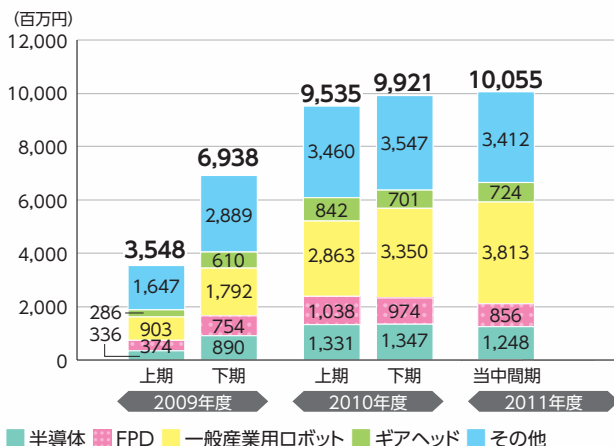
当中間期の事業環境について

●新興諸国の自動化・省力化投資により良好に推移

当社グループの事業環境は、欧州における財政問題の深刻化や米国経済の停滞に加え、急激な円高の進行など、国内外のマクロ経済環境の不透明感が高まったものの、中国をはじめとする新興諸国の自動化・省力化投資が当社グループ製品の需要をけん引したことから、全般には良好に推移しました。

用途別需要については、スマートフォンなどのデジタル機器の組立、自動車産業での溶接、塗装、組立に用いられる産業用ロボット向け需要が増加しました。一方、半導体製造装置向け、フラットパネル製造装置向けは、第2四半期に入り半導体デバイスメーカー、パネルメーカーの設備投資抑制の影響を受け、需要が減少しました。

当社(単体)の用途別売上高の推移



※FPDは液晶パネル等のフラットパネルディスプレイを表しております。

※当中間期株主通信におきましては、第2四半期累計期間を中間期又は上期と表示しております。

当中間期の業績について

● 前年同期比で増収、減益

当中間期の地域別売上高は、日本及び北米市場が前年同期比で僅かに減少しました。日本市場は、産業用ロボット向けは堅調でしたが、夏場以降の半導体製造装置向けが減少しました。北米市場は、現地通貨ベースでは増収でしたが、急激な円高の進行により円換算した売上高は減少となりました。

一方、アジア市場は、中国での旺盛な自動化・省力化投資に支えられ産業用ロボット向けが増加し、欧州市場も工作機械、ロボット向けを中心に増収となりました。

また、当中間期は、今後の中長期的な需要増加に備えるため、約20億円を投じて長野県の主力工場（穂高工場）を中心とした生産能力引き上げ投資を実施しました。これにより、減速装置の生産能力が約25%高まり、生産効率も向上しました。

当中間期の経営成績は、売上高は前年同期比3.6%増加の11億4千万円となりました。損益面では、増収による増益効果があったものの、先述の能力増強投資の実行に伴う減価償却費の増加などが影響し、営業利益は前年同期比6.8%減少の2億71百万円、中間純利益は同5.5%減少の1億49百万円となりました。

なお、当期の中間配当は1株当たり14円を実施いたしました。

今後の見通しと取り組みについて

● マクロ経済への不透明感の高まりから、通期は減収を見込む

今後の見通しにつきましては、欧州での財政問題の深刻化が世界経済へ及ぼす影響への懸念、先進諸国の景気低迷、新興諸国の経済成長が鈍化する可能性の高まりなど、先行きに対する不透明感が高まっております。

当社グループの事業環境につきましても、夏場以降、半導体製造装置向け、フラットパネルディスプレイ製造装置向けの受注額が減少していることや、デジタル機器の組み立て等に使用される一部の産業用ロボット向けにおいても受注動向が軟調となっております。

このような状況から、通期の連結業績は、売上高は187億円、営業利益は32億50百万円、当期純利益は17億50百万円を見込んでおります。

当社グループは、トータル・モーション・コントロールを提供する技術・技能集団としての競争力を強化し、販売・開発・生産面におけるさらなる国際化を推進することで、世界市場で勝ち抜くことができるグループへと総合力の強化を図ってまいります。

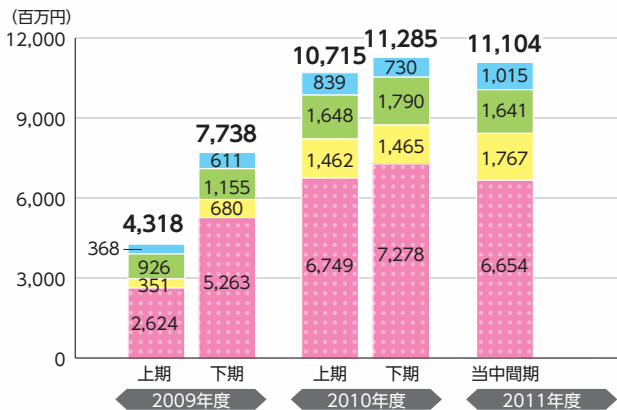
株主の皆様におかれましては、今後とも倍旧のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2011年12月

代表取締役会長 伊藤 光昌

代表取締役社長 涌本 晴雄

連結地域別売上高の推移



■ 国内 ■ 韓国・台湾・中国 ■ 北米 ■ 欧州

※その他地域は比率が小さいためグラフから除いております。

配当金振込制度のご案内

株主様ご所有の株式に対する配当金（中間配当金を含む）をご指定の預貯金口座へ直接ご入金する制度がございます。

この制度で、一度配当金の振込先をご指定いただきますと、今後の配当金はご指定の口座へ自動的にお振込いたします。

確実に配当金をお受取りいただけますので、振込口座をご指定いただいていない株主様におかれましては、是非この配当金振込制度をご利用されることをおすすめいたします。

配当金振込制度をご利用される場合は、

みずほ信託銀行証券代行部(株主様専用照会ダイヤル)

☎ 0120-288-324 にご請求いただき、お手続きください。お待ちしております。

主要製品／ハーモニックドライブ®とは？

主要製品

MECHATRONICS

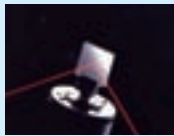
減速機・軸受・モーター・センサー・ドライバー・コントローラーなどを高度に組み合わせた“トータル・モーション・コントロール”を提供する製品群です。

FHA-Cminiシリーズは、他に類を見ない薄型でコンパクトな形状と中空穴構造を持ち、この貫通穴に配線・配管・レーザー光などを通し、機械・装置全体の構造をシンプルにできます。



ACサーボアクチュエーター
FHA-C miniシリーズ

LSAシリーズは、新開発の光学式センサーと、独自の可動マグネット型モーターを採用した、高速・高精度な光走査が可能なガルバノミラー型の光学スキャナです。ミラーを高速・高精度に駆動させ、光を走査し位置決めするというユニークな製品で、レーザー機器をはじめとする多くの光走査アプリケーションで使われています。



ガルバノ式光学スキャナ
LSAシリーズ



CSGシリーズ

Harmonic Drive®

金属の弾性(たわみ)を歯車に応用することにより、精密な位置決めが可能な減速機です。わずか3点の基本部品から構成されており、軽量、コンパクトでありながら、大きな力を伝達することが可能です。産業用ロボットの関節部をはじめ、幅広い用途に採用されています。

AccuDrive®

コンパクト・高トルク・高精度を実現した遊星歯車減速機です。ハーモニックプラネタリ®は、薄肉弾性内歯車の採用、各部品精度の向上により、小さなバックラッシュでありながらスムーズに回転するという相反する厳しい課題を高次元で解決しています。ハーモニックドライブ®ではカバーしていない低減速比のニーズにお応えしています。



ハーモニックプラネタリ®
HPGシリーズ

ハーモニックドライブ®とは？

技術の新世紀へ

弾性力学を応用した画期的な発明に接し、その可能性を確信

ハーモニックドライブ®はユニークな原理の歯車です。従来の歯車と異なり金属のたわみ、弾性力学を応用したもので、米国の発明家C.W.マッサーによって生み出されました。

C.W.マッサーは、専門の機械工学の分野を超え、物理・化学・生物など広範囲にわたり数多くの特許を取得した発明家です。ハーモニックドライブ®のアイデアは彼が学会で他の研究者と「テコの原理」について討論している際に、突如ひらめいたものといわれています。

この革命的な発明との出会いから、当社は、より高精度、高トルクかつコンパクトなハーモニックドライブ®を求めて技術的な研究を重ねてきました。これからも当社は、これまで蓄積した技術と技能を活かしながら、無限に広がるトータル・モーション・コントロールの可能性をひたむきに追求してまいります。



ハーモニックドライブ®の発明家
C.W.マッサー

Harmonic Drive®



ウェーブ・ジェネレーター

精肉状カムの外周に、薄肉のボール・ベアリングを組み合わせた部品。ベアリングの内輪は、カムに固定されていますが、外輪はボールを介して弾性変形します。通常は入力軸に取り付けられます。

フレクスプライン

薄肉カップ状の金属弾性体の部品。開口部外周に歯が刻まれています。フレクスプラインの底(カップ状底部)をダイヤフラムと呼び、通常は出力軸に取り付けられます。

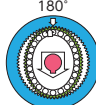
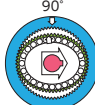
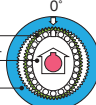
サーキュラースプライン

剛体リング状の部品。内周に歯が刻まれており、フレクスプラインより歯数が2枚多くくなっています。通常はケーシングに固定されます。

フレクスプライン

ウェーブ・ジェネレーター

サーキュラースプライン



フレクスプラインはウェーブ・ジェネレーターによって精肉状にたわめられます。そのため、長軸の部分では、サーキュラースプラインと歯がかみあい、短軸の部分では、歯が完全に離れた状態となります。

サーキュラースプラインを固定し、ウェーブ・ジェネレーターを時計方向に回転させると、フレクスプラインは弾性変形し、サーキュラースプラインとの歯のかみあう位置が順次移動していきます。

ウェーブ・ジェネレーターが時計方向へ180度まで回転すると、フレクスプラインは歯数1枚分だけ、反時計方向へ移動します。

ウェーブ・ジェネレーターが1回転(360度)すると、フレクスプラインはサーキュラースプラインより歯数2枚少ないため、歯数差2枚分だけ、反時計方向へ移動します。通常は、この動きを出力として取り出します。

「ハーモニックドライブ®」の学術的・一般名称は「波動歯車装置」であり、「ハーモニックドライブ®」は当社が製造販売する製品にのみ使用できる登録商標です。

用途

軽量・コンパクト・高精度を特長とするハーモニックドライブ®は、高い信頼性が求められる産業用ロボット分野で、あるいは医療用機器、光学機器、印刷機器、石油掘削などの幅広い分野で、さらに火星探査や天文学といった科学技術の最先端分野へと、その活躍の場を広げています。

宇宙衛星

太陽電池パネルの位置・姿勢制御システム、その駆動部で活躍するのがハーモニックドライブ®です。宇宙空間で使用されるハーモニックドライブ®には、苛酷な環境に長時間耐えられるよう、材質・構造に数々のノウハウが注ぎ込まれています。



独立行政法人 宇宙航空研究開発機構 (JAXA) 様提供

小型指ロボットモジュール

負け知らずのじゃんけんロボットです。人間が出す手の形をカメラで読み取り、0.2秒以下という短時間で人間に必ず勝つ手の形を出します。各関節部にはハーモニックドライブ®を内蔵した、当社のアクチュエーターが使用されています。



本田技研工業株式会社様提供

ヒューマノイドロボット[ASIMO]

ロボットの腕や足にハーモニックドライブ®が使われています。次世代のロボットは、限りなく人間に近づいていくと考えられます。



本田技研工業株式会社様提供

ハワイ島マウナケア山の大型光学赤外線望遠鏡[すばる]

心臓部の主鏡(有効口径8.2m)の歪みを0.1 μ m以内の鏡面に保つため、ハーモニックドライブ®とアクチュエーターを組み合わせたアクチュエーター264本が主鏡部裏側に組み込まれ、宇宙誕生の謎を解き明かす、137億光年彼方の宇宙を見つめています。



大学共同利用機関法人 自然科学研究機構 国立天文台様提供

火星探査車

人類初の火星探査車「オポチュニティ」と「スピリット」には、それぞれ19個のハーモニックドライブ®が使用されており、人間の注目が集まる宇宙科学の最先端で、重要な役割を担っています。



Rover image created by Dan Maas, copyrighted to Cornell and provided courtesy NASA/ JPL-Caltech.

油田・ガス産業向け操舵掘削システム

ハーモニックドライブ®は正確な掘削穴と掘削スピードを得るため、下降穴掘削機材の操舵システムに使用されています。このシステムによって、原油またはガスを取り囲む岩の構造を精密に掘削穴が貫くことが可能になり、油井・ガス井の高い生産性が得られます。



Courtesy of Halliburton/ Sperry Drilling Services

ナビゲーションシステム

仏・独・西の3国 合併企業であるEADS100%出資のエアバス社。その航空機の安全なフライトを導くナビゲーションシステム(慣性航法装置)にハーモニックドライブ®が使用されています。



エアバス社様提供

中間財務諸表(連結)(要旨)

中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	2010年度 (前中間期末) 2010年 9月30日現在	2011年度 (当中間期末) 2011年 9月30日現在	2010年度 (前期末) 2011年 3月31日現在
資産の部			
流動資産	14,169	14,616	16,169
現金及び預金	5,472	5,647	6,988
受取手形及び売掛金	6,605	6,854	6,854
有価証券	30	30	30
たな卸資産	1,542	1,549	1,607
その他	524	535	694
貸倒引当金	△6	△2	△4
固定資産	15,253	16,261	18,098
有形固定資産	3,872	5,084	4,817
無形固定資産	134	151	174
投資その他の資産	11,245	11,025	13,106
投資有価証券	4,508	5,285	7,394
関係会社株式	5,092	5,123	5,050
その他	1,648	802	847
貸倒引当金	△4	△185	△185
資産合計	29,422	30,877	34,268

資産合計 308億77百万円

法人税等及び配当金の支払い、長期借入金の返済により現金及び預金は前期末比で13億40百万円減少。投資有価証券の時価の下落により投資その他の資産が前期末比で20億81百万円減少。

負債合計 77億82百万円

未払法人税等は前期末比で14億15百万円減少。繰延税金負債は前期末比で7億97百万円減少。長期借入金は前期末比で2億85百万円減少。

純資産合計 230億94百万円

その他有価証券評価差額金が減少しましたが、利益剰余金が増加したことから前期末比で0.6%増加。

(単位：百万円)

科目	2010年度 (前中間期末) 2010年 9月30日現在	2011年度 (当中間期末) 2011年 9月30日現在	2010年度 (前期末) 2011年 3月31日現在
負債の部			
流動負債	5,351	4,811	7,101
支払手形及び買掛金	1,885	1,828	2,059
短期借入金	10	10	10
1年以内返済予定の長期借入金	739	752	740
リース債務	69	82	82
未払法人税等	1,215	685	2,100
賞与引当金	422	416	613
役員賞与引当金	52	40	104
その他	955	995	1,390
固定負債	3,597	2,970	4,208
長期借入金	1,922	1,272	1,558
リース債務	242	238	277
繰延税金負債	965	1,083	1,880
役員退職慰勞引当金	365	271	380
その他の引当金	93	102	106
負ののれん	8	2	5
負債合計	8,948	7,782	11,310
純資産の部			
株主資本	19,133	21,245	20,126
資本金	1,610	1,610	1,610
資本剰余金	5,203	5,203	5,203
利益剰余金	14,624	16,736	15,617
自己株式	△2,304	△2,304	△2,304
その他の包括利益累計額	622	892	2,003
その他有価証券評価差額金	1,179	1,398	2,633
為替換算調整勘定	△556	△505	△630
少数株主持分	718	956	827
純資産合計	20,474	23,094	22,957
負債純資産合計	29,422	30,877	34,268

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間連結損益計算書

(単位: 百万円)

科目	2010年度 (前中間期) 2010年4月1日~ 2010年9月30日	2011年度 (当中間期) 2011年4月1日~ 2011年9月30日	2010年度 (前期) 2010年4月1日~ 2011年3月31日
売上高	10,715	11,104	22,001
売上原価	5,784	6,320	12,070
売上総利益	4,930	4,783	9,930
販売費及び一般管理費	1,956	2,012	4,082
営業利益	2,974	2,771	5,848
営業外収益	182	229	203
営業外費用	41	75	88
経常利益	3,115	2,925	5,963
特別利益	0	0	10
特別損失	321	255	673
税金等調整前中間 (当期) 純利益	2,794	2,670	5,300
法人税、住民税 及び事業税	1,305	797	2,581
法人税等調整額	△290	217	△524
少数株主損益調整前 中間(当期) 純利益	1,778	1,655	3,243
少数株主利益	196	160	291
中間(当期) 純利益	1,581	1,495	2,951

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

売上高

111億4百万円

中国をはじめとする新興諸国の自動化・省力化投資が当社グループ製品の需要をけん引し、全般に良好な状況で推移。用途別では産業用ロボット向けが増加。半導体製造装置向けは前年同期並み。フラットパネルディスプレイ製造装置向けは減少。前年同期比3億89百万円の増収(3.6%の増収)。

営業利益

27億71百万円

生産能力増強投資の実行に伴い減価償却費が増加。研究開発費、梱包発送費などが増加。前年同期比2億3百万円の減益(6.8%減益)。

中間純利益

14億95百万円

製品保証損失、役員退職特別加算金などを特別損失に計上。前年同期比86百万円の減益(5.5%減益)。

中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

科目	2010年度 (前中間期) 2010年4月1日~ 2010年9月30日	2011年度 (当中間期) 2011年4月1日~ 2011年9月30日	2010年度 (前期) 2010年4月1日~ 2011年3月31日
営業活動による キャッシュ・フロー	2,037	310	5,337
投資活動による キャッシュ・フロー	△517	130	△2,345
財務活動による キャッシュ・フロー	△635	△772	△1,482
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△21	△6	△84
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	862	△337	1,424
現金及び現金同等物の 期首残高	2,926	4,350	2,926
現金及び現金同等物の 中間期末(期末) 残高	3,788	4,013	4,350

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

**営業活動による
キャッシュ・フロー
3億10百万円**

税金等調整前中間純利益は前年と同水準ながら法人税の支払いなどが増加し、前年同期比84.8%減少。

**投資活動による
キャッシュ・フロー
1億30百万円**

固定資産取得による支出8億73百万円。定期預金払戻しによる収入13億53百万円。

**財務活動による
キャッシュ・フロー
△7億72百万円**

借入金返済による支出4億18百万円。配当金支払4億56百万円。前年同期比21.5%の支出増加。

中間財務諸表〔単体〕(要旨)

中間貸借対照表

科 目	(単位：百万円)	
	2010年度 (前期末) 2011年 3月31日現在	2011年度 (当中間期末) 2011年 9月30日現在
資産の部		
流動資産	13,219	11,650
現金及び預金	5,013	3,638
受取手形及び売掛金	6,626	6,692
有価証券	30	30
たな卸資産	958	893
その他	591	396
固定資産	17,621	15,525
有形固定資産	3,396	3,498
無形固定資産	169	148
投資その他の資産	14,054	11,878
投資有価証券	7,394	5,285
関係会社株式	5,825	5,825
その他	1,020	953
貸倒引当金	△185	△185
資産合計	30,840	27,175

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

科 目	(単位：百万円)	
	2010年度 (前期末) 2011年 3月31日現在	2011年度 (当中間期末) 2011年 9月30日現在
負債の部		
流動負債	6,531	4,379
支払手形及び買掛金	2,158	1,894
1年以内返済予定 の長期借入金	700	700
リース債務	20	20
未払法人税等	1,863	605
賞与引当金	548	354
役員賞与引当金	99	37
その他	1,141	767
固定負債	3,458	2,160
長期借入金	1,400	1,050
リース債務	65	54
繰延税金負債	1,549	727
役員退職慰労引当金	359	248
執行役員退職 慰労引当金	83	77
その他	—	1
負債合計	9,990	6,539
純資産の部		
株主資本	18,216	19,237
資本金	1,610	1,610
資本剰余金	5,203	5,203
利益剰余金	13,707	14,728
自己株式	△2,304	△2,304
評価・換算差額等	2,633	1,398
純資産合計	20,850	20,636
負債純資産合計	30,840	27,175

中間損益計算書

科 目	(単位：百万円)	
	2010年度 (前中間期) 2010年4月1日~ 2010年9月30日	2011年度 (当中間期) 2011年4月1日~ 2011年9月30日
売上高	9,535	10,055
売上原価	5,595	6,102
売上総利益	3,939	3,953
販売費及び一般管理費	1,631	1,686
営業利益	2,308	2,266
営業外収益	146	267
営業外費用	43	72
経常利益	2,411	2,461
特別利益	0	0
特別損失	315	255
税引前中間純利益	2,095	2,206
法人税、住民税 及び事業税	1,104	616
法人税等調整額	△263	192
中間純利益	1,254	1,397

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

グループ会社の概要



会社情報

概要 (2011年9月30日現在)

商号：株式会社ハーモニック・ドライブ・システムズ
Harmonic Drive Systems Inc.

所在地：〒140-0013
東京都品川区南大井六丁目25番3号

TEL：03-5471-7800(代表)

FAX：03-5471-7811

設立：1970年10月

従業員数：245名

資本金：1,610,542,649円

事業所 (2011年9月30日現在)

本社：東京都品川区南大井6-25-3 ビリーヴ大森7階
〒140-0013 TEL.03-5471-7800(代)

穂高工場：長野県安曇野市穂高牧1856-1
〒399-8305 TEL.0263-83-6800(代)

海外事業本部：長野県安曇野市穂高牧1856-1
〒399-8305 TEL.0263-83-6935

営業統括部：長野県安曇野市穂高牧1856-1
〒399-8305 TEL.0263-83-6910

東京営業所：東京都品川区南大井6-25-3 ビリーヴ大森7階
〒140-0013 TEL.03-5471-7830

北関東営業所：埼玉県さいたま市大宮区桜木町4-263 Y.S.T.ビル3階
〒330-0854 TEL.048-647-8891

中部営業所：愛知県名古屋市名東区本郷2-173-4 名古屋インタービル6階
〒465-0024 TEL.052-773-7451

関西営業所：大阪府大阪市淀川区西中島7-4-17 新大阪上野東洋ビル3階
〒532-0011 TEL.06-6885-5720

九州営業所：福岡県福岡市博多区博多駅前1-15-20 EME博多駅前ビル7階
〒812-0011 TEL.092-451-7208

取締役会 (2011年9月30日現在)

代表取締役会長	伊藤 光昌
代表取締役社長	涌本 晴雄
取締役	幾田 哲雄
取締役	清澤 芳秀
取締役(非常勤)	伊藤 良昌
取締役(非常勤)	吉田 治彦
取締役(非常勤)	酒井 進児

(注) 伊藤良昌氏、吉田治彦氏、酒井進児氏は会社法第2条第15号に定める社外取締役です。

監査役会 (2011年9月30日現在)

常勤監査役	木場 靖夫
監査役(非常勤)	中西 裕
監査役(非常勤)	大島 秀文

(注) 木場靖夫氏、中西裕氏、大島秀文氏は会社法第2条第16号に定める社外監査役です。

業務執行体制 (2011年9月30日現在)

社長執行役員	(兼)涌本 晴雄
専務執行役員 人事・業務・会計担当 (兼)コンプライアンス担当	山崎 吉雄
常務執行役員 経営企画・財務担当	長井 啓
執行役員 海外担当(兼)株式会社 ハーモニック・エイディ代表取締役 社長(兼)哈默纳科(上海)商貿有限公 司 董事長	(兼)幾田 哲雄
執行役員 基礎研究担当	(兼)清澤 芳秀
執行役員 哈默纳科(上海)商貿有限 公司 総経理	丸山 哲明
執行役員 MC事業・国内営業担当	小沢 寛
執行役員 生産・生産技術・資材担当	安江 秀夫
執行役員 製品開発担当	谷岡 良弘

穂高工場



株式情報

株式の状況(2011年9月30日現在)

発行可能株式総数	:	118,800,000株
発行済株式の総数	:	30,532,455株
株主数	:	2,289名

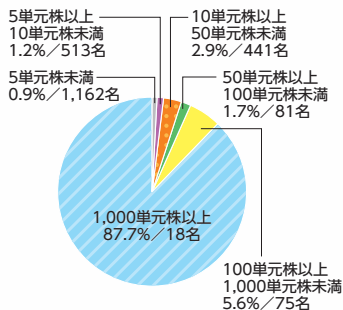
(注) 発行済株式の総数及び株主数は、自己株式1,050,645株を除いております。

● 大株主

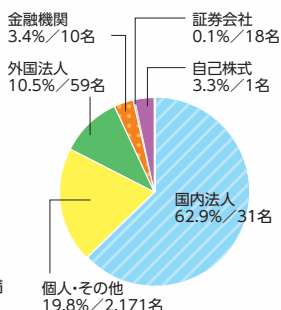
株主名	持株数(株)	議決権比率(%)
株式会社光電製作所	11,496,900	37.65
ナブテスコ株式会社	6,106,800	20.00
トヨタ自動車株式会社	1,459,800	4.78
ゴールドマン・サックス・アンド・カンパニーレギュラーアカウント	1,091,000	3.57
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー	984,400	3.22
伊藤 典光	947,200	3.10
太田 美保	946,600	3.10
伊藤 光昌	882,600	2.89
トリンカウス インターナショナル ルクセンブルグ	651,300	2.13
日本トラスティ・サービス信託銀行 株式会社(信託口)	618,100	2.02

(注) 1. 当社は自己株式1,050,645株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。
2. 議決権比率は自己株式を控除して計算しております。

所有株数区分別分布状況



株式所有者別分布状況



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月に開催いたします。
剰余金の配当	決算期現在の株主名簿に記載または記録された株主または登録株式質権者にお支払いいたします。
中間配当	中間配当を実施するときは9月30日現在の株主名簿に記載または記録された株主または登録株式質権者にお支払いいたします。
基準日	3月31日 そのほか必要あるときは、取締役会の決議により、あらかじめ公告して、基準日を定めます。
株主名簿管理人 特別口座管理機関	〒103-8670 東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
事務取扱場所	〒103-8670 東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

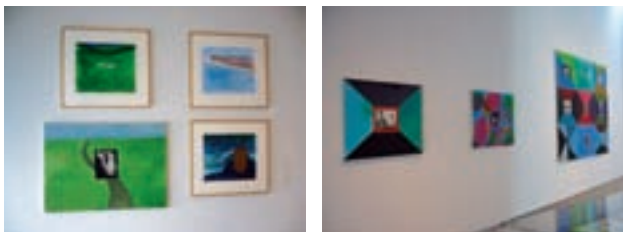
	特別口座の場合	証券会社に口座をお持ちの場合
郵便物送付先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目 8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部	
電話 お問い合わせ先	0120-288-324 (フリーダイヤル)	お取引の証券会社 になります。
お取扱店	みずほ信託銀行株式会社 全国各支店 みずほインベスターズ証 券株式会社 本店および全国各支店	
ご注意	電子化前に名義書換を失念し、お手元に他人名義の株券がある場合は、至急上記「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・お取扱店にご連絡ください。	未払配当金のお支払、支払明細の発行については、左の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・お取扱店をご利用ください。
公告	当社WEBサイトに掲載いたします。 ●アドレス http://www.hds.co.jp/ ※事故その他やむを得ない事由により当社WEBサイトに掲載できないときは、日本経済新聞に掲載いたします。	

IIDA・KANでは2010年11月から2012年3月まで「TRIAD 飯田善國・楨文彦/二人展」を開催しております。

この展示会は当社創立40周年を記念した特別企画展です。

飯田善國は戦後の日本を代表する独創的な彫刻家のひとりです。

楨文彦氏は2002年に当社敷地に建築したギャラリー棟「IIDA・KAN」、研究棟「I・K KAN」、《守衛所》(総称 TRIAD)の設計者です。



展示会風景

飯田善國(いいだ・よしくに)

1923(大正12)年、栃木県足利郡生まれ。慶應義塾大学高等部から応召(学徒出陣)し中国大陸へ。戦後は慶應義塾大学に復学し西脇順三郎に師事。卒業後の1948(昭和23)年、東京藝術大学入学。油絵科で梅原龍三郎に師事。卒業後は個展・グループ展などで作品を発表。1956(昭和31)年、野上彌生子との縁でローマに留学しファッツィーニのアトリエで初めて彫刻を学ぶ。後、ウィーンに移り1959(昭和34)年には抽象裸婦連作を描く。その後本格的に彫刻に転じウィーンやベルリンを拠点に活躍。

1967(昭和42)年帰国。翌年の第一回神戸須磨離宮公園現代彫刻展で最高賞を受賞。木彫からブロンズ、ステンレスなどによる金属彫刻、さらに色彩と言語を独自のロジックで統合した「クロマトフィロロギア」による金属と着色ロープの作品など、独自の造形を見せる彫刻作品で内外にひろく知られるほか、版画やコラージュなどの平面作品、ステンレスによる野外モニュメントも多数。

2006(平成18)年没[享年82歳]

楨文彦(まさき・ふみひこ)

1928(昭和3)年、東京生まれ。1952年、東京大学工学部建築学科卒業。丹下健三の研究室で外務省庁舎のコンペを担当した後、アメリカに留学し、クランブルグ美術学院とハーバード大学大学院建築修士課程を修了した。1954年に、スキッドモア・オーウィングズ・アンド・メリル、翌1955年には、セルト・ジャクソン建築設計事務所に勤務。その後はワシントン大学とハーバード大学で都市デザインを講じた。

1965年に楨総合計画事務所を設立。1979年-1980年には東京大学教授を務めた。戦後モダニズム建築の正統的な建築家と評されている。

主な建築作品に「代官山集合住宅(ヒルサイドテラス)」「名古屋大学豊田講堂(日本建築学会賞)」「幕張メッセ(BCS賞・IAITAフォーダー賞)」「風の丘葬祭場(BCS賞)」「グランドゼロ・タワー4」など。

1993年には建築界のノーベル賞に例えられるプリッカー賞を受賞。

IIDA・KAN

「IIDA・KAN」は、当社の技術開発に携わる者が強い意志と豊かな感性を涵養するための場所として作られたギャラリー棟です。



お問合せ：〒399-8305長野県安曇野市穂高牧1856-1
株式会社ハーモニック・ドライブ・システムズ
穂高工場内
TEL.0263-83-6800 <http://www.hds.co.jp/>

開館時間：工場稼働日の午前10時～午後4時
(ご来館者に応じて開館)
※音声ガイドもご用意しております。

アクセス：【車】長野自動車道豊科インターより県道495号、
25号経由約20分
【JR】大糸線穂高駅下車、車で約15分

株式会社 **ハーモニック・ドライブ・システムズ**
<http://www.hds.co.jp/>

お問合せ先

経営企画・財務部
〒140-0013 東京都品川区南大井6-25-3
TEL:03-5471-7810 FAX:03-5471-7811
E-mail:ir@hds.co.jp



色覚の個人差を問わず出来るだけ多くの方に見やすいユニバーサルデザインにしています。



6324



この株主通信は植物油インクを使用しております。